



田川市役所玄関ホールに設置された
合併浄化槽のミニチュア模型

合併浄化槽 模型展示

田川市 下水道代わりに推進

田川市役所玄関ロビ
ーに、トイレや台所な
どから出る生活排水を
一括処理する合併浄化
槽のミニチュア模型が
お目見えした。市は下
水道整備方針を財政負
担の重さから201
6年に撤回して合併

浄化槽の普及を推進
しており、市民の理解
に役立てたいとしてい
る。

模型は一般家庭用を
およそ3分の1に縮小
した長さ約110センチ、
高さ約56センチ、幅約33センチ。
汚水の代わりに水を循

環させ、微生物による
汚濁物質の分解や、処
理水を消毒して河川な
どに流す仕組みを再現
している。飯塚市に工
場を置く浄化槽メーカー
「フジクリーン工業」
（名古屋市）が機能の
説明パネルとセットで
寄贈した。

市内に下水道は従来
から未整備で、合併浄
化槽による水洗化率は
60%ほど。さらなる普
及には、商店街や住宅
密集地に浄化槽を埋設
するスペースをどう確
保するかが課題となっ
ている。

先月17日に市役所で
あった贈呈式で、同社
の永田勝芳・福岡支店
長は「下水道より浄化
槽の方が早く整備でき
る」と優位性を強調。
二場公人市長は「浄化
槽のコンパクト化な
ど、密集地にどう置く
か研究して、アドバイ
スしてほしい」と述べ
た。 【峰下喜之】